



今年も残り1か月となりました。寒くなり体調を崩すお子さんも多くなっています。コロナ感染者も日々多くなる状況ですね。今月は、コロナの対応について・インフルエンザの対応について・感染性胃腸炎についてをお伝えします。今年度はコロナ流行により、感染対策を行っていることから、例年より全国的にも感染症が少なくなっています。インフルエンザも例年の今の時期に比べると大幅に減少していますが、油断は禁物であり注意していきましょう。インフルエンザワクチンは現在、乳児クラスが8割程、幼児クラスは6割程の方が受けられています。今後接種を検討されている方は流行期に備えて早めにスケジュールをたててくださいね。



コロナに関して

11月に入り感染者が急増して、また不安な日々が続いていますね。第2波よりも感染拡大しており、いつ誰がなってもおかしくない感染者数と陽性率になっています。11月号の保健だよりでもコロナについての対応を配布させていただきましたが、今一度ご確認をお願いします。今回は感染者増加にあたり、先月号にはお伝えできていなかった点を以下に記載します。

- ★園児や同居家族の方がPCR検査を受けることになった場合は、お迎えの時間を待たずに園まで電話でのご連絡をお願いします。その際、受けられる方以外の保護者の方が、早めのお迎えが可能であればお願いいたします。結果が陰性と確認できるまでは家庭保育のご協力をお願いいたします。
- ★開園時間外にPCR検査を受けることが決まった場合は、まずコドモンでお知らせください。
- ★今後、園児・職員・園関係者がコロナ陽性となった場合、保健所の指示次第では休園となる場合があります。その際は、ご理解・ご協力をお願いいたします。
- ★引き続き、病欠で欠席される場合は、症状や熱の経過（何℃や、解熱時期など）もコドモンで構いませんのでお知らせください。

感染性胃腸炎が流行る時期です

ノロやロタ、アデノなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合もあります。（ノロやロタ、アデノウイルスではなかったら感染性腸炎ではないということはありません。周知されていない感染性腸炎のウイルスはたくさんあります。）お腹の風邪と診断される時があると思いますが、基本的に感染性腸炎と同じになります。集団生活をする上で、感染力がある時期は自宅安静をしていただき、登園可能な時期を医者に確認してください。（感染性胃腸炎は登園届が必要となります）下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいを行ってください。

汚れた衣服は…

85℃の熱湯に1分以上浸けるか、塩素系漂白剤を薄めた物で消毒します。



消毒ができたなら洗濯機に入れて大丈夫です。



汚れた場所もしっかりと消毒をしましょう。



※園で便や嘔吐物が付着した衣類は感染拡大予防のため、洗わずに返却させていただきますのでご理解をよろしくをお願いいたします